

【令和6年度 苫小牧市立明倫中学校 教育推進の最重点（グランドデザイン）】

令和6年度 胆振管内教育推進の重点

【推進テーマ】

一人一人の子どもを主語にする学校づくり
～学校内外の協働の深化を図る学校経営～

【推進の重点】

- 重点1 資質・能力の向上
- 重点2 特別支援教育の充実
- 重点3 生活・学習習慣の確立
- 重点4 地域との連携・協働
- 重点5 教員の人材育成
- 重点6 働き方改革の推進

【エリアで目指す15歳の子ども像】

- 広く深く考え、自ら高め、常に向上する生徒
- 豊かな心を持ち、温かく補い合う生徒
- たくましい体と強い心をもつ生徒

【エリアで育てる資質・能力】

- 当たり前のことを当たり前にする態度
- 主体性 ● 協働性

令和6年度 苫小牧市学校教育推進の重点

【推進テーマ】

小中学校9年間の確かな成長を目指して
～生きてはたらく力を身に付けた15歳の苫小牧っ子～

- 重点1 資質・能力の向上
- 重点2 豊かな心の育成
- 重点3 特別支援教育の充実
- 重点4 学校段階間の連携・接続の推進
- 重点5 不登校児童生徒への支援の充実
- 重点6 学校と地域の連携・協働の推進

【令和6年度 苫小牧市立明倫中学校 教育推進の最重点】

質の高い学びと魅力ある教育活動の展開

～ 誰一人取り残さない幸福度の高い学びの場の創造 ～

1 生徒・教師・家庭が信頼で結びつく 安全・安心な環境づくり

- (1) 教育公務員のコンプライアンスの徹底
- (2) 教師の働き方改革の推進
- (3) 魅力ある教育活動の展開
- (4) 地域人材の活用による教育活動の充実
 - ◎ 日々の教師と生徒の触れ合う時間の確保
 - ◎ 教育課程検討委員会の充実
 - ◆ 「学校が楽しい」と感じる生徒の割合が80%以上
 - ◆ 生徒の出席日数前年比1割増

2 豊かな学級経営を基盤とした生徒の 居場所づくり

- (1) ユニバーサルデザインの視点による生徒理解、授業づくり、学級づくり
- (2) 特別な配慮や支援を要する生徒の見取りと組織的対応
- (3) いじめを許さない集団の育成
- (4) 誰一人取り残さない多様な居場所づくり
 - ◎ 不登校生徒への支援の充実
 - ◎ 生徒指導対策委員会の充実
 - ◆ 長期欠席生徒への手立て100%
 - ◆ 生徒の出席日数前年比1割増

3 わかる・できる・楽しい授業づくり

- (1) 授業改善「10の視点」の具現化
- (2) 苫小牧市共通取組事項及び共通取組場面における研修の推進
- (3) 運動への興味関心と意欲を高める体育授業の充実
- (4) 教師の言葉の精選（説明・指示）から生徒の活動時間の確保
 - ◎ 市内共通取組事項・場面の具現化
 - ◎ 授業での教師の言葉10%カット
 - ◎ 1人1回公開授業
 - ◆ 「見通す」「決定する」「協働する」「振り返る」場面を意識した授業100%
 - ◆ 生徒の出席日数前年比1割増

4 小・中の連携・一貫した教育活動の 体制づくり

- (1) 明倫中エリアの連携体制の強化
- (2) 小・中における資質・能力の向上
- (3) 小・中における生徒指導対策の充実
- (4) 小・中における特別支援教育の充実
 - ◎ エリア経営会議・エリア部会の充実
 - ◎ エリア研修会の開催
 - ◆ エリア研修会の参加100%
 - ◆ 生徒の出席日数前年比1割増

重点達成への鍵

【見通す】

目指す子ども像の具現化に向けた取組及びゴールイメージの共有化を図る

【決定する】

職場の心理的安全性を保ち、自走する教職員集団を形成する

【協働する】

強固な信頼関係を基盤とした学校・家庭・地域の役割連携を強化する

【振り返る】

エビデンスをもとに短期的な成果検証を行い、精選・徹底・継続により組織的改善を図る

※ 「**当たり前のこと**」とは、社会生活を送る上で必要な資質・能力として、「時を守り」「場を清め」「礼を尽くす」こととおさえる。

※ 「**幸福度の高い学び**」とは、自ら考え、判断し、行動することを通して、自己有用感や自己肯定感を実感し「明倫中学校で頑張った、やり切った」「明倫中学校を卒業してよかった」と思える学びのこと。

※ 「**ユニバーサルデザインの視点**」とは、障がいの有無等に関係なく、すべての子どもに対する指導の工夫を考えていくという視点のこと。

※ 「**多様な居場所づくり**」とは、通常学級、通級指導教室、校内教育支援センター(ステップアップ教室)、苫小牧市教育支援センター(あおば学級・トピリカ学級・山なみ学級)、フリースクールの活用、ICTの活用等、自立に向けたその子に応じた学びを繋ぐこと。

